

不審者に襲われたら...



関川小学校で

「不審者対応訓練」

九月二日、関川小学校で全児童を対象に「不審者対応訓練」が行われました。

当日は、村上警察署生活安全課の音田係長と下関交番の渡邊所長が講師として訓練に参加。訓練では、不審者に襲われたら…を想定して、ランドセルや腕をつかまれた場合の逃げ方等を学びました。

村上警察署の音田係長は、「不審者に襲われなくても、怪しいなと思ったら無理して近づかないこと。困った時は恥ずかしながら、大声を出して助けを呼ぶことが大事です」と

呼びかけました。

訓練に参加した村田麻結さん(三年・宮前)は、「不審者にランドセルをつかまれても外して逃げれば良いということを学びました」と感想を話していました。

下関交番の渡邊所長は、「不審者が小学校付近でウロウロしていることもあるので、絶対近づかないでほしい。不審者はうそをついて近づいてくるので、全く知らない人であればその場を離れた方がよい」と指導していました。

「どん底から這い上がれ」

シドニー五輪水泳銀メダリスト 中村真衣さん講演会

九月八日、関川小学校でシドニー五輪水泳銀メダリストの中村真衣さんによる講演会が行われました。これは、関川小学校の開校記念行事としてPTAが主催して行われたもの。当日は、児童や保護者など約四百五十人が集まりました。

十七歳までの二十三年間にわたる水泳人生の中で学んだことを自らの経験を通して話してくれました。

講演のテーマは「夢は生きるパワーの源」。四歳から二

高校二年生のとき、アトラクタ五輪に出場し、成績はタッチの差で惜しくも四位。自身初めての五輪でしたが、楽しい思い出は残らず、やさしさだけが残ったそうです。そのくやしさをバネにして努力を重ねた結果、翌年、世界最高記録を出しました。

その後、中央大学へ進学し、大学三年生のときに出場したシドニー五輪百

斤背泳ぎで見事銀メダルを獲得。一位とはわずかに〇・三秒差。「金メダルをとりたい」。四年後の

アテネ五輪を目指し、猛練習の日々が続ききました。しかし、アテネ五輪選考会で敗れ、夢は散りました。半年間、何もする気がおきなかったそうです。

そんなとき、テレビ番組で川口能活さん(プロサッカー選手)がこんなことを話していました。「真のアスリートの負けは闘いをやめること」。この言葉が、中村さんを奮い立たせ、もう一度水泳選手として頑張ることができたそうです。

中村さんは子どもたちに伝えました。「どん底から這い上がれ」と。困難にぶつかっても、立ち向かっていく生き方や姿勢が大切であることを自分の経験を通して教えてくれました。

真剣な表情で話を聞いていた子どもたち。きつと心に響く何かがあったのでしよう。

講演会に参加していた渡邊一史さん(下関)は「どん底から這い上がる根性は今の子どもにも必要だと思いました。そして夢を持つのは大切なことだと改めて感じました」と話していました。



渡邊邸の味噌蔵で 「蔵と花」写真展を開催

現在改修中の国指定重要文化財「渡邊邸」では敷地内にある味噌蔵を利用し、写真展が開催されています。これは、NPO法人渡邊家が主催しているもので、写真は同法人の事務局長でありプロカメラマンでもある廣瀬佳明さんが撮影したものです。

咲く色鮮やかな花々の写真が展示されています。廣瀬さんは「関川村は自然が豊かで、渡邊邸にも季節ごとにたくさんの花が咲く。まさに「花園」。観光客の皆さんに四季折々の花を見てもらい、それぞれの季節に足を運んでもらえるような「ピーター」が増えてくれたら嬉しい」と話していました。

味噌蔵と写真展：意外な組み合わせですが、蔵には「味噌玉運搬具」や「味噌樽」そして「豆むしき」など昔ならではの道具も置かれていて、タイムスリップしたかのような不思議な空間となっています。展示されている写真は季節ごとに入れ替わり、いつも眺めている景色とは一味違った視点で村の四季を感じることもできます。

ぜひ、この機会に味噌蔵へ足を運んでみてはいかがですか？

猛暑の影響？ さといもの花が咲きました



「まさか、さといもの花が咲いた...」
中束集落に住む中束寅七さん・ウメさん夫妻は減反田を利用して、さといもの栽培を行っています。さといもを作り始めて30年。さといもの花が咲いたのは初めてのことでした。

今年はさといもを20株植え、8月末頃、そのうちの2株から花が咲きました。茎から伸びている、細長く黄色い花。中束さん夫妻はもちろん、近所の方たちも大変珍しがっていたそうです。「せっかく咲いたのに、2～3日で枯れてしまったので残念です」とウメさん。猛暑の影響だったのでしょうか...調べたところ、さといもはもともと熱帯地方の植物。夏の暑さや日照時間の関係で、時々咲くことがあるそうです。

第一回

七ヶ谷ふれあい運動会が

開催されました

八月二十二日、七ヶ谷ふれあい自然の家（旧安角小学校）で、第一回七ヶ谷ふれあい運動会が行われました。

昨年までは「七ヶ谷郷民運動会」として安角小学校の運動会と合同で開催されていましたが、小学校の統合によって、今年から七ヶ谷体育協会（高橋健太郎会長）が実施主体となり「七ヶ谷ふれあい運動会」として生まれ変わりました。

した。

当日は、七ヶ谷地区の住民約百五十人が参加。競技は白組（金保・鮎谷・久保・蔵田島）と赤組（大石・安角・上川口）に分かれて行われ、熱戦が繰り広げられました。

猛暑の中、リレーやタイヤ転がしなど子どもから大人まで競技を楽しみ、応援席からは、熱い声援が送られていました。



選手も、応援の皆さんも汗まみれになっての運動会。お疲れさまでした。